

④ 受入当日の動き

【お客様が到着したら】

- 挨拶・・・初対面の印象は大事です。笑顔を忘れず気持ちのよい対応を。
- 宿内の案内・・・部屋やお風呂・トイレなど。お客様が入ると困る場所があれば事前説明を。
- 食事・・・食事の時間の案内（体験調理であればいつから準備するのか）

【お客様がくつろぎ始めたら】

過度に接客をしたり、体験を無理に勧める必要はありません。農村でただゆっくりしたいという方もいます。お客様とは自然な距離を保って接して下さい。

【体験メニューの考え方】

都会の人にとっては農村に来る事自体が体験です。日々の農家の生活を体験させるという位で考えてください。

（お客様から要望があれば一緒に農作業等の体験してもらう）

尚、体験時には「これは何のための作業なんだよ」などといった会話を交わして、農業に対する関心を高めることも重要となってきます。

農作業体験を提供することで本業の妨げになったり、人手が必要だと思うものに対しては、事前に有料体験と定めてお客様に案内して下さい。

他民泊の体験内容例

有料の体験例

- ・ 乳搾り 500円
 - ・ トラクターの試乗 500円
 - ・ アイス作り 1500円
- など

無料の体験例

- ・ 犬の散歩
 - ・ 畑の手伝い
 - ・ 家畜の餌やり
- など

【お風呂について】

近くに温泉等あればそこへ案内するのが良いですが（送迎可能なら尚よい）、温泉等が無い場合は家のお風呂を共同で使って頂く形となります。

その場合は、お客様が使いやすくなるような心配り（お客様の入浴時間を事前に決める、入浴中には掛札をするなど）があると良いです。

※当日の動きなどは、28ページの「民泊受入チェックリスト」を活用してください。

他のファームインを利用したお客様の声

- ・ 宿泊先のお母さんが優しかった。（30代男性）
- ・ いい感じにほっとかれて自由にのびのびと利用できた。（40代女性）
- ・ 飼っている犬と一緒に散歩ができて楽しかった。（10代女性）
- ・ サービスが過剰でも不足でもなく、もてなしを受けている感じで寛げた。（30代女性）

